

景気動向調査

(水産加工業)

2019年1～3月期、4～6月期

調査概要

調査期間	2019年8月1日～同8月31日
調査対象時期	第1期:(当期)2019年1月～同3月 (次期):2019年4月～同6月 第2期:(当期)2019年4月～同6月 (次期):2019年7月～同9月
調査対象企業	水産加工業者40社
有効回答率	85%
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査内容	①業界景気など、自社景況の実績と次期予測 ②経営上の課題 ③自由記述(業界内での話題や困りごと等)

1.【設問1】集計結果

—B.S.I値で見る業種別景気動向—

※B.S.I値 とは

- 「Business Survey Index(ビジネス・サーベイ・インデックス)」の略で、景況判断指数のひとつ
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

※(「上昇:好調の要素」-「下降:不調の要素」)÷2

最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製（商）品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りにについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

(1) 国内景気について

	1～3月期		4～6月期	
	実績(1～3月)	次期予測(4～6月)	実績(4～6月)	次期予測(7～9月)
水産加工業者	-29.0	-33.9	-33.9	-37.1
※前回比	-6.5	-4.8	0.0	-3.2

(1～3月期)

当期実績：B. S. I値－29.0ポイントを記録。前回予測比から－6.5ポイントとなった。

次期予測：B. S. I値－33.9ポイントと、さらに景気低迷の見通し。

(4～6月期)

当期実績：1～3月期の次期予測と同値で、予測どおり景気が低迷した。

次期予測：直近実績比－3.2ポイントと、依然として景気は悪い見通し。

(2) 業界景気について

	1～3月期		4～6月期	
	実績(1～3月)	次期予測(4～6月)	実績(4～6月)	次期予測(7～9月)
水産加工業者	-40.3	-41.9	-38.7	-37.1
※前回比	-14.5	-1.6	3.2	1.6

(1～3月期)

当期実績：B. S. I値－40.3ポイントを記録。前回予測比から－14.5ポイントとなった。

次期予測：B. S. I値－41.9ポイントと、さらに景気低迷の見通し。

(4～6月期)

当期実績：1～3月期と変わらず、景気が大きく落ち込む結果となった。

次期予測：前回より続く大幅な景気下落は、次期も継続する見通しに。

(3) 売上について

	1～3月期		4～6月期	
	実績(1～3月)	次期予測(4～6月)	実績(4～6月)	次期予測(7～9月)
水産加工業者	-11.3	-6.5	-16.1	-11.3
※前回比	-4.8	4.8	-9.7	4.8

(1～3月期)

当期実績：B. S. I値－11.3ポイントを記録。前期比－4.8ポイントとなった。

次期予測：直近実績比4.8ポイントと、やや改善見通しに。

(4～6月期)

当期実績：B. S. I値－16.1ポイントと、数値を落とした。

次期予測：直近実績比4.8ポイントと、やや改善の見通しとなった。

(4) 営業利益について

	1～3月期		4～6月期	
	実績(1～3月)	次期予測(4～6月)	実績(4～6月)	次期予測(7～9月)
水産加工業者	-11.3	-12.9	-21.0	-12.9
※前回比	0.0	-1.6	-8.1	8.1

(1～3月期)

当期実績: B. S. I値 -11.3ポイントを記録。前期比と同値となった。

次期予測: 直近実績比 -1.6ポイントとほぼ同値に。

(4～6月期)

当期実績: B. S. I値 -21.0ポイントと、悪化した。

次期予測: 直近実績比 8.1ポイントと、やや数値の改善が見られた。

(5) 製(商)品在庫について

	1～3月期		4～6月期	
	実績(1～3月)	次期予測(4～6月)	実績(4～6月)	次期予測(7～9月)
水産加工業者	4.8	0.0	1.6	1.6
※前回比	-3.2	-4.8	1.6	0.0

(1～3月期)

当期実績: B. S. I値4.8ポイントを記録。前期比-3.2ポイントとなった。

次期予測: 直近実績比-4.8ポイントを記録し、B. S. I値が0.0に。

(4～6月期)

当期実績: 前回予測比1.6ポイントと、あまり変動はなかった。

次期予測: 次期も同じような状態が続く見通し。

(6) 資金繰りについて

	1～3月期		4～6月期	
	実績(1～3月)	次期予測(4～6月)	実績(4～6月)	次期予測(7～9月)
水産加工業者	-17.7	-16.1	-17.7	-16.1
※前回比	-9.7	1.6	-1.6	1.6

(1～3月期)

当期実績: B. S. I値 -17.7ポイントを記録。前期比 -9.7ポイントとなった。

次期予測: 直近実績比 1.6ポイントと、あまり状況は変わらない見通し。

(4～6月期)

当期実績: 前回予測比 -1.6ポイントと、状況にあまり変化はなかった。

次期予測: 直近実績比 1.6ポイントと、あまり状況は変わらない見通し。

(7) 設備投資について

	1～3月期		4～6月期	
	実績(1～3月)	次期予測(4～6月)	実績(4～6月)	次期予測(7～9月)
水産加工業者	4.8	8.1	6.5	12.9
※前回比	8.1	3.2	-1.6	6.5

(1～3月期)

当期実績: B. S. I値4.8ポイントを記録。前期比8.1ポイントとなり、改善傾向に。

次期予測: 前回実績比3.2ポイントと若干数値が上向く予測に。

(4～6月期)

当期実績: 前回予測比-1.6ポイントと若干数値が下がるも、前回実績より数値は向上。

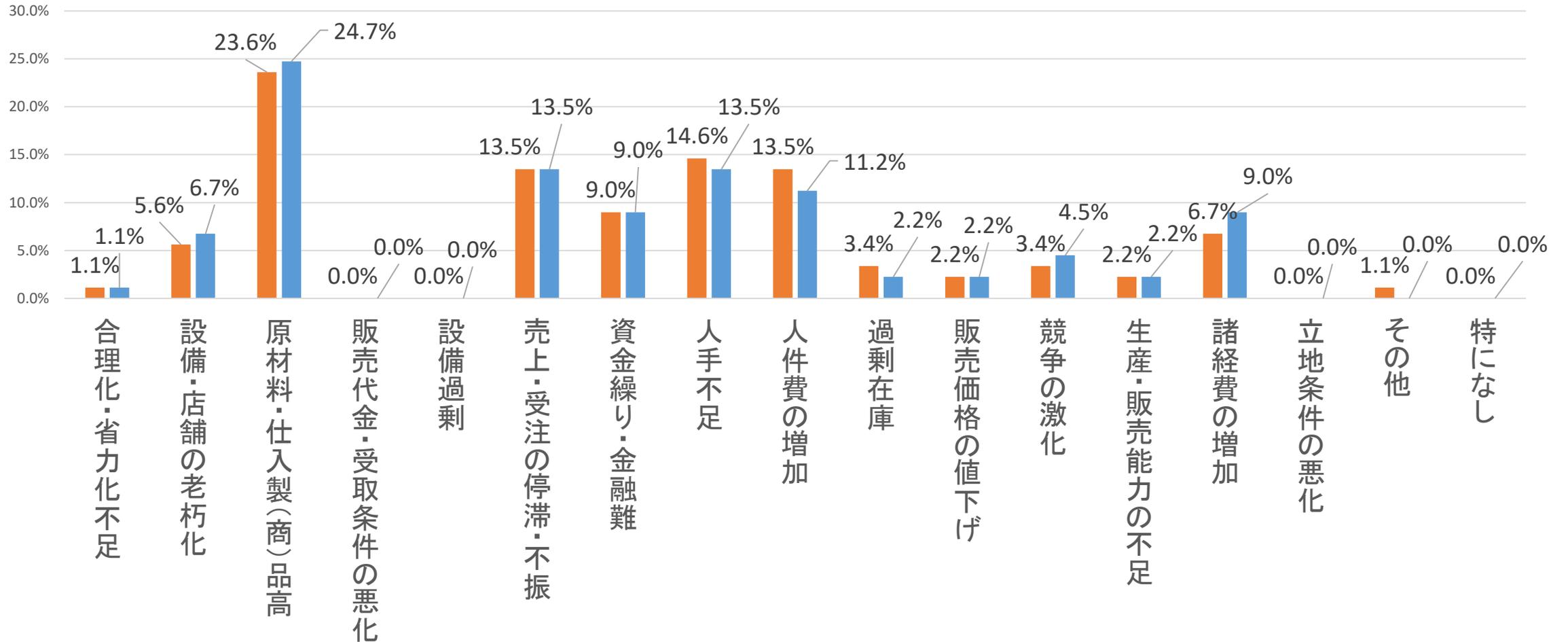
次期予測: 直近実績比6.5ポイントと数値の向上がみられる。

2.【設問2】集計結果

—業種別、経営上の問題点—

(1) 項目別集計表 (1~3月期 4~6月期)

経営上の課題 2019年1月~3月期、4~6月期



(2) 時期別集計表 (上位3項目)

※上位3項目は前回と変動なし

	合理化・省力化不足	設備・店舗の老朽化	原材料・仕入製(商)品高	販売代金・受取条件の悪化	設備過剰	売上・受注の停滞・不振	資金繰り・金融難	人手不足	人件費の増加	過剰在庫	販売価格の値下げ	競争の激化	生産・販売能力の不足	諸経費の増加	立地条件の悪化	その他	特になし
1~3月期	1.1%	5.6%	23.6%	0.0%	0.0%	13.5%	9.0%	14.6%	13.5%	3.4%	2.2%	3.4%	2.2%	6.7%	0.0%	1.1%	0.0%
※前期比	-2.1%	-1.8%	-4.1%	-1.1%	0.0%	0.7%	3.7%	2.9%	3.9%	2.3%	1.2%	2.3%	-3.1%	-6.0%	0.0%	1.1%	0.0%
4~6月期	1.1%	6.7%	24.7%	0.0%	0.0%	13.5%	9.0%	13.5%	11.2%	2.2%	2.2%	4.5%	2.2%	9.0%	0.0%	0.0%	0.0%
※前期比	0.0%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-1.1%	-2.2%	-1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	2.2%	0.0%	-1.1%	0.0%

3.【設問3】寄せられた声

—自由記述—

自由記述(業界内での話題や困りごとなどなんでも)

<雇用>

- ・求人募集を出してもなかなか人が集まらない
- ・若手職員が不足している
- ・人手不足が慢性化。従業員が定着しない

<社会>

- ・魚食の不振

<経営>

- ・借入金等の返済が苦しい
- ・原材料の高騰が続き、増税もあいまり困難な状況が続く